

地域協議会の活動紹介

今年4月は地域協議会委員の任期が満了し、改選が行われます。地域自治区や地域協議会について、より多くの皆さんに知っていただき関心を寄せてもらえるよう、シリーズで紹介します。

シリーズの2回目は、地域協議会の主な取り組みとして、具体的な事例を関係者のインタビューとともにご紹介します。



■問合せ…自治・地域振興課 (☎025-526-5111、内線1429)

■課題解決に向けた地域協議会の活動

○諏訪区地域協議会と「移住促進諏訪の会」の取り組み

諏訪区地域協議会では、協議会が自らテーマを決めて、より良い解決策を話し合う中で、「人口減少・移住促進」について検討してきました。そこで、話し合うだけでなく、実際に活動していく団体が必要と考え地域住民へ働き掛けを行い、「移住促進諏訪の会」(以下、「諏訪の会」)が発足しました。諏訪の会には、地域協議会の一部の委員も参加し、地域との連携・協力を進めながら精力的に活動しています。



諏訪区地域協議会会長の星野一巳さん(右)、
移住促進諏訪の会会長の古川正美さん

か、移住促進に関する先進地視察などを行ってきました。地域活性化に向けた取り組みを次世代につなげていけるよう、今できることをコツコツと実行していき、何年後かには形になればと期待しています。

星野さん：運動会や夏祭りなどには、多くの地域の皆さんが参加します。こういった地域の良さを持続していくためにも、人口減少対策を考えていく必要があります。諏訪の会には私も参加しています。地域の皆さんと課題を共有しながら、より元気な地域にしていきたいです。

古川さん：諏訪の会では、地域の団体とともに諏訪区の魅力をホームページやSNSでPRしているほ



昨年8月の先進地視察の様子

■地域活性化に向けた取り組み

○名立区地域協議会の取り組み

名立区地域協議会では、市内最高峰の不動山や名立川、日本海などの豊かな自然を生かし、「だれもがいつまでも住み続けることができるまちづくり」に向けて、名立区の将来を考えながら住民が取り組む事業の審査を行っています。

名立区では、地域活動支援事業を活用して、宇山のヤマザクラの魅力をもPRする取り組みや不動地区での「キャンドルロード」の実施をはじめ、交流を広げる事業などが行われています。しかし、まだまだ地域活動支援事業のことを知らない人が多く、これを活用する人が増えるようPRしていく必要があると考えています。

名立区の自然、人情を大切に、近隣の地域とも連携しながら、名立区にできることを進めて行きたいと思っています。



名立区地域協議会会長の
塚田正さん